

Moto ミニ 3Hours ブリーフィング資料

1. 決勝イベントのスタートについて
 - 1) スタート前チェック終了後は、Team Green Cup 予選中のため一旦パークフェルメで仮保管となります。
 - 2) 決勝イベントのスタート方式は、ル・マン式となります。
※ 天候によってはスタート方法が変更になる場合がございます。
 - 3) ウォームアップラップの開始もル・マン式ですので、決勝のスタートと間違えないように注意してください。
ウォームアップラップ終了後、スタートライダーは速やかにコース反対側のスタート位置についてください。
 - 4) グリッドについた車両はエンジンを1度止めて頂いても結構です。ただし、3分前にはエンジンをスタートして下さい。1分前にエンジンの掛からない車両はピットレーンに移動してください。
 - 5) グリッド上でのガソリン補給は一切禁止となります。
 - 6) ウォームアップラップ後にピットインした車両はピットスタートとなります。
2. スタート時の注意
 - 1) スタート時のカウントダウンに合わせてアナウンサーのコールが行われますが、正式なスタート合図は、各グループの日章旗となります。
 - 2) スタート時に各グループの日章旗を持ったオフィシャルを見ていて下さい。
 - 3) スタート時サインマンエリア（プラットホーム）は立入禁止です。全車スタートしてマーシャルカーがホームストレートを通過した後、使用可能になります。
3. ペナルティーストップボード/ライドスルーペナルティボード
 - 1) ペナルティーストップボードは、『STOP』の文字の下にゼッケン番号を記した一体型の黄色のボード。
 - 2) ライドスルーペナルティボードは、『RIDE THROUGH』の文字の下にゼッケン番号を記した一体型の黄色のボード。
 - 3) いずれのボードも1番ポストと8番ポスト（5コーナー手前右側）の2か所で3周提示します。
4. ペナルティーストップのやり方
 - 1) ペナルティーストップエリアは、ピットレーン出口付近の白線枠内とします。
 - 2) 当該ライダーが、ペナルティーストップエリア手前（ピット前等）に停止した場合、再度コースインしてペナルティーストップのやり直しになります。ピットレーンスピードにも注意してください。
5. ライドスルーペナルティのやり方
 - 1) 当該ライダーは、ピットレーンに入り制限速度を遵守し、途中で停止する事なくレースに復帰してください。
 - 2) ピット前またはペナルティーストップエリア等に止まってしまった場合、再度コースインしてライドスルーペナルティのやり直しになるので注意してください。
6. イベント終了
 - 1) スタート後3時間経過後、もしくは規定の時間を過ぎた後、先頭車両に対してコントロールラインでチェッカーフラッグが振られます。順位はレース終了時の周回数の多い者から決定され、同一周回数の場合は同一順位が与えられます。※先にチェッカーを受けた1チームのみ表彰式登壇にて副賞授与。
尚、チェッカーフラッグはピットレーンでも受けることができます。（コントロールラインの延長線上）
 - 2) チェッカーフラッグ提示後に4コーナーからペースカーが先頭車両の前付近に介入します。ペースカーと先頭車両の間にいる車両は、ペースカーを追い越しチェッカーフラッグを受けてください。
 - 3) チェッカー後は全車パークフェルメにて車両保管となります。（車両保管場所は4 5番ピットとピットロード入口の間）メカニックにスタンドを持くるようにあらかじめ指示願います。
 - 4) 表彰式は、コントロールタワー前ポーディウムで行いますのでご参加下さい。
 - 5) 上位に入賞されたチームは、再車検を受けて頂きます。該当車両のメカニックの方は、車両と共にエンジンを分解する準備をしてから45番ピットまでお越しください。
7. フルコースコーション
 - 1) フルコースコーション中のピットインは可能ですが、ピットアウトはピットレーン出口の信号機に従って下さい。
 - 2) セーフティカー（SC）に先導されている間（黄旗＋SCボードが提示された時から）は、全車追い越し禁止です。
また、走行の際は、必ず1列縦隊のまま走行して下さい。車間距離は、5車身以内に保つようにして下さい。
 - 3) フルコースコーション解除時の再スタートにおいて、各ライダーはコントロールラインを通過するまでは追い越し禁止です。コントロールライン通過前に追い越しをすると、スタート違反となり罰則が科せられます。
8. 赤旗時の対応
 赤旗による中断から再開する場合は、下記の通りです。
 - 1) スタート後先頭車両と同一周回数の全車が3周を走行完了する前に中断した場合、最初のスタートは無効に

なり、スタート進行はやり直しとなります。ただしレースの終了時刻はこのあと発行される公式通知にて示した時刻とします。

2) 再開されるレースのスタート方法はセーフティカー先導によるローリングスタートとし、その手順は下記の通りとします。

- 2)-1 再開が決定された後、各車両はピットレーン上に2列に隊列を作って整列します。
- 2)-2 隊列はピットレーン出口に停車したセーフティカーを先頭にピットウォール寄りにグリッド1番～グリッド順の半数まで整列し、残りの半数がグリッドの若い順からピット寄りに2列で整列します。
- 2)-3 メインフラッグ台にてグリーンフラッグが振られ、最初のセーフティカーに先導されたピットウォール寄りのグリッド1番～半数の隊列がスタートします。
- 2)-4 最初の隊列がスタートした後、次のセーフティカーに先導された残りのピット寄りに整列した隊列がスタートします。この際コース上の全ポストでは黄旗が振動表示されます。
- 2)-5 セーフティカーは回転灯を点けて走行し、2つの隊列はそのまま1列ずつ走行しその間追い越しは禁止します。万がトラブル等で隊列に付いて行けなくなった場合は、後方車両に合図を送り、ラインを外して走行して下さい。
- 2)-6 セーフティカーを先導にしたローリングラップは1周以上行い、ピットインが可能です。
- 2)-7 セーフティカー先導によるスタートが決定されたら、セーフティカーは回転灯を消灯し、その週の終了時点でピットレーンに入ります。
- 2)-8 セーフティカーがピットレーンに入り、ライダーがコントロールラインに近づいた時点で1番ポストからグリーンフラッグが振動表示され、グリーンランプが点灯されます。同時に全ポストから黄旗の振動表示は一斉に解除され、レースは再開となります。各自がコントロールラインを通過するまで**追い越しは禁止とします**。コントロールライン通過前に追い越しをすると、スタート違反となり、罰則が科せられます。

2)-9 ローリングラップ中の走行ラップも周回数としてカウントします。

3) 公式通知により発表されたレース終了時刻の30分前以後にレースが中断した場合、レースは成立したものとみなされます。その際の順位はレースが中断される前の周回における順位とします。

9. 救済処置

転倒・マシントラブルにより車両が停止した場合、救済処置を行う場合があります。

- 1) オフィシャルによるグラベルからの脱出、押し掛けの援助については罰則を科しません。
- 2) レッカー車での回収(救済)された車両は、車検場横に運びます。
- 3) 東コース短絡路、西コース短絡路の走行は禁止です。短絡路内にストップした場合は止まってレッカー車での回収をお待ち下さい。
- 4) コース上での押しがけは厳禁です。再スタートを試みる場合はガードレール内側の安全な位置から行って下さい。
- 5) ピットレーン出口でオフィシャルが車両のチェックを行う場合があります。特に転倒後などは必ずチェックしますので、予めご了承ください。

10. ピットレーン

- 1) ピットレーンの制限速度は60km/hです。違反すると罰則が科せられます。
- 2) ピットレーンでは追越し禁止であり、ピットインしてくる車両に優先権があります。

11. ピット作業について

- 1) **決勝中(スタート前チェック終了後から)にピットガレージ内へ車両を入れた時点でリタイヤとみなします。**
- 2) 給油、ライダー交代の有無に関わらず、ピットインした場合は**3分間のピット滞在時間が義務付け**となります。時間管理は各チームの責任において管理してください。規制区間についてもご確認ください。
なお、**ピットインは3回以上**しなければなりません。(2022Moto ミニ 3Hours 特別規則書 P33 第24条ピット作業 参照)
- 3) 無線機の使用は禁止です。(携帯電話も含む)
- 4) 各ピットガレージのピットレーン側の壁面に常設の消火器が設置されていますので、走行開始前に必ず消火器の場所を確認し、火災が発生した場合に迅速に消火ができるように備えてください。

12. ライダー交替

- 1) 登録されたライダーなら、何度走行しても構いませんが、**連続走行は60分以内です**。

13. その他

- 1) **ライダーは、22歳以下、TRMC-S(モビリティリゾートもてぎのサーキットライセンス)・SMSCのロードコース非会員の方は、2輪用エアバッグ機能付ウェアが必要です。スタートライダーがエアバッグ使用の場合、スタート時の車両保持のメカニック1名以外に、エアバッグハーネス取付けのためのメカニックもう1名の立ち合いが認められます。**

以上